

# 港合同

全国金属機械労働組合 港合同  
 大阪市港区南市岡3・6・26  
 TEL 06・6583・4858  
 FAX 06・6583・4600

## 民営化・組合つぶしに反撃を！ 労働組合が闘えば勝てる 入れ墨処分撤回を勝ちとろう！

二月三日、エルおおさか南館ホールに於いて、「入れ墨調査上告棄却糾弾！市民生活の破壊を許さない！二・三集会」が開催されました。

入れ墨アンケート拒否で処分撤回を闘う六名の内、交通局と病院局の労働者は最高裁で上告棄却となり、非現業で人事委員会闘争を闘う四名も、三名が結審して命令待ち、残る一名も二月一〇日の証人調べで結審となることから、一旦の集約と最後の人事委員会に向けた

決起集会として行われたものです。

集会では、司会兼開会あいさつを懲戒処分を許さない南大阪の会事務局長で、我が港合同の中村委員長が行い、主催者挨拶を同じく懲戒処分を許さない南大阪の会の山元代表が行いました。

最高裁での不当な上告棄却を受けて、交通局のYさん、病院局のMさんからそれぞれ報告と決意が述べられました。

人事委員会闘争を闘う被処分者四名が自己紹介

をした後、代表して建設局のAさんが二・一〇人事委員会証人調べに臨む決意を述べました。

Aさんは「労働者の団結を守り抜くため入れ墨処分撤回の不服申し立てを闘ってきた。そして市職定期大会では入れ墨処分をめぐる『組合として闘う方針を出すべきだ』



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

た』といくつもの支部から出された。また自治労函館大会では『橋下打倒・入れ墨処分撤回署名』に行列ができた。始まりは少数でも、自治体労働者全体に響き渡り、新たな団結をつくり出す闘いです。橋下前市長の狙いがいよいよハッキリした。今春、下水道の民営化計画は一〇〇〇人の必要人員の約半数を非正規にする計画。水道局の民営化は職員を一六〇〇人から一〇〇〇人に減らす計画。行政がこのように『命よりの金儲け』に走ったとき破たんは必至。橋下はこのような民営化への抵抗をつぶすために、あらか

じめ労働組合の闘いを根絶しようとした。しかしアンケート調査、君が代斉唱、入れ墨調査などで現場から頑強な反乱が始まり、その狙いを打ち砕いてきた。労働組合が闘えば勝てるということ、奈良市従の下水道民間委託阻止の勝利が示している。そして奈良市従の労働者は下水道民間委託を阻止する裁判闘争『義務付け訴訟』を開始している。二月一〇日の人事委員会・口頭尋問と晩の報告集会に結集してください。

ました。研究所の府市統合・民営化と闘う「環化研・公衛研まもれネットワーク」、ホーム安全柵で国や市と交渉している「交通権の確立・大阪市営交通を守り発展させる会」、ヒゲをはやしていることを理由に不利益を受け裁判闘争を闘う地下鉄の労働者、不起立処分と闘う「『日の丸君が代』強制反対・不起立処分を撤回させる大阪ネット」、安心できる介護を！懇談会として港合同南労会支部。

化のためであり、その妨害物となる労働組合の一掃、労働者の団結を解体するためだったのです。しかし現場労働者の決起と南大阪をはじめ官民連帯・地域共闘の運動の地平が、敵の攻撃を破たんさせ、その目論見を打ち砕いてきました。二月一〇日(金)午後一時、人事委員会の口頭尋問は被処分者当該の赤田さん、日の丸君が代不起立被処分者で大阪市教組のNさん、そして同じく入れ墨被処分者で南大阪のTさんが証人です。傍聴結集をよろしく願います。

昌一金属支部 K

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！